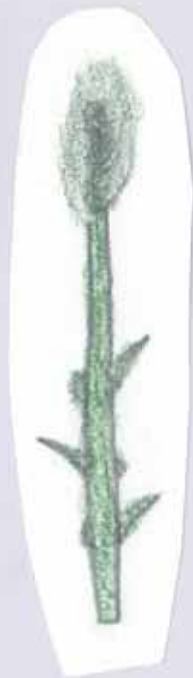


雑司ヶ谷の草花

とくちょうすかん

みきわめポイントつき

2017年8月



2-3 八木夏凜

雑司の谷植物マップ (かんさつきか 2019年4月~8月)

①	アオギリ	P.4	②1	カタバミ	P.14	④1	チドメグサ	P.10	⑥1	ヒメオドリコソウ	P.21
②	アカカタバミ	P.14	②2	カラスウリ	P.31	④2	ツタ	P.30	⑥2	ヒメツルソバ	P.22
③	アキノタネツケバナ	P.6	②3	カラスノエンドウ	P.32	④3	ツタバウンラン	P.12	⑥3	ヒメヒオウギ	P.7
④	アキノノゲシ	P.15	②4	キツタ	P.11	④4	ツユクサ	P.24	⑥4	ブドウ	P.30
⑤	アベリア	P.30	②5	キバナコスモス	P.15	④5	ツルハナナス	P.28	⑥5	フヨウ	P.4
⑥	アメリカオニアザミ	P.16	②6	キュウリグサ	P.32	④6	ツルボ	P.32	⑥6	ヘクソカズラ	P.30
⑦	アリアケスマレ	P.31	②7	クマザサ	P.9	④7	トキワツユクサ	P.25	⑥7	ミズヒキ	P.23
⑧	イヌタデ	P.23	②8	ゴウシュウアリタソウ	P.5	④8	ドクダミ	P.30	⑥8	ムクゲ	P.4
⑨	イヌホオズキ	P.29	②9	コニシキソウ	P.26	④9	ナガエコミカンソウ	P.27	⑥9	ムラサキケマン	P.19
⑩	イヌワラビ	P.30	③0	コヒルガオ	P.31	⑤0	ナガミヒナゲシ	P.19	⑦0	ムラサキサギゴケ	P.32
⑪	イノモトソウ	P.30	③1	コミカンソウ	P.27	⑤1	ナギイカダ	P.18	⑦1	ムラサキツユクサ	P.25
⑫	ウスアカカタバミ	P.14	③2	サルスベリ	P.30	⑤2	ナズナ	P.32	⑦2	ムラサキハナナ	P.6
⑬	エノコログサ	P.8	③3	サルビア・ミクロフィラ	P.20	⑤3	ニワゼキショウ	P.7	⑦3	メヒシバ	P.9
⑭	オオアレチノギク	P.16	③4	シェフレラ	P.11	⑤4	ネジバナ	P.31	⑦4	ヤツデ	P.11
⑮	オオバコ	P.12	③5	ジャノヒゲ	P.17	⑤5	ハキダメギク	P.16	⑦5	ヤブガラシ	P.30
⑯	オキザリス・トライアングラリス	P.14	③6	シロバナタツナミソウ	P.21	⑤6	ハゼラン	P.31	⑦6	ヤブタバコ	P.16
⑰	オシロイバナ	P.13	③7	スズメノエンドウ	P.32	⑤7	ハナニラ	P.32	⑦7	ヤブミョウガ	P.25
⑱	オヒシバ	P.9	③8	スズメノカタビラ	P.9	⑤8	ハハコグサ	P.32	⑦8	ヤブラン	P.17
⑲	オランダミミナグサ	P.32	③9	スベリヒユ	P.31	⑤9	ハラソ	P.18	⑦9	ユウゲショウ	P.30
⑳	カジノキ	P.30	④0	タマサンゴ	P.29	⑥0	ヒメイヌビエ	P.8	⑧0	ヨウシュヤマゴボウ	P.30

はじめに

2017年5月に、と島区や戸所10階の「と島の森」かんさつツアーに参加した時、今のと島区は2区の中でもしせんが「少ないけれど昔は山も川もあった。このと島の森はそのころのと島区のすがたをさいげんしているとききました。(区やく戸所の10階から4階がちょうどその山の高さなのた「そうです)そして、田町の中の本の木を大せつにすることが、山を大せつにすることにつながる」と孝文がきました。

その後、今までいじゅうに通学するなどのしせをかんとするようにはみたら「少ないと聞いていたのに、びっくりするほどたくさん、このしよくぶつをみつけたことが出来ました。とくに、人がうけたのていはい、やせいのしよくぶつが、町のあちこちへのみゆかもしけらっていて、住んでいるひとたちも、その木を

うけいれているように、なにかがうれしくなりました。でも、いざかんさつしてみると、よくみか「けるのていまいをしらない「よくしている花に「ているのに「何かわからない、しよくぶつが「多く、さいせは「いらるのに「うら「しました。いろいろな本や「すいかんを「みくらへ「たり、せんもんかのせんせい「にしつもん「たりしているうちに、しよくぶつを「分る「いて「いる科「にとく「ちやう「があることが「わかって「まて、し「ぶん「が「の「みき「わめ「か「たを「は「けん「する「こと「が「い「て「ま「した！
そこで、夏やすみ「は「い「か「け「て「わ「た「し「の「お「ん「で「い「る「と「島「区「雑「司「ヶ「谷「の「ど「こ「に「し「ん「な「し「よく「ぶ「つ「か「ある「の「か「し「ら「へ「て「み「き「わ「め「か「た「の「ポ「イ「ン「ト「も「ま「と「め「て「み「ま「した。



1. 植物の分類

地球上の植物を見た目やせいしつのとくちゅうでしゅるい分けしたもの。大きな分類から順に

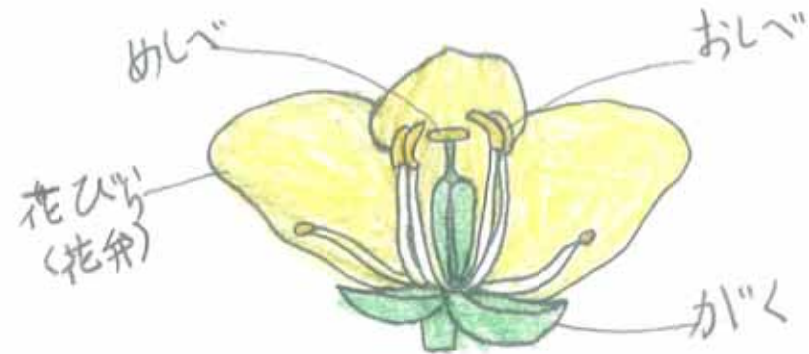
階 → 綱 → 目 → 科 → 属 → 種

となっている。(たとえばカスウリだと「被子植物 門 → 双子葉植物 綱 → スミレ目 → ウリ科 → カスウリ属 → カスウリ」となる。)

分類「学の父」といわれるスウェーデンの植物学者カール・フォン・リンネがきそを作るその後、けんきゅうが進むにつれて、修正されて新エンクラ体系のロンキスト体系などがでてきた。日本では、牧野富太郎博士が「たくさんの植物を発見・命名・分類して、日本の植物分類学の父と呼ばれている。見在はいたんしかいせきをもとにした「APG分類体系」が主流にならなけりいふ

2. 花のつくり

＜基本的な花のつくり＞



＜花のつぎのいろいろ＞



穂状花序 (オリーブなど) 総状花序 (フジなど)
散房花序 (ナスなど) 円錐花序 (木など)



輪状花序 (ヒマワリなど)

3. 葉のつくり

〈基本的な葉のつくり〉

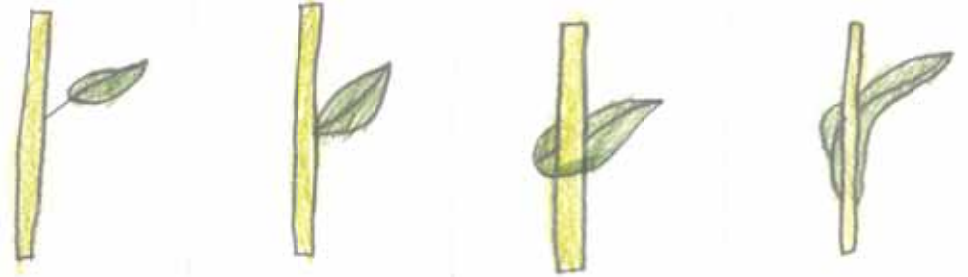


〈葉の形いろいろ〉



※葉みゃく: 葉にえいよ成分をばらばらに分けてはこぶいくた

〈茎へのつきかたいろいろ〉



葉柄あり 葉柄なし 茎をだく 茎になががる

〈生えかたいろいろ〉



互生

葉が茎に
たがひか
につく



輪生

茎の同じ
ところから
3枚以上
の葉が出る



對生
葉が茎に
むかひあ
つく



根生
ロゼット状の
葉をもつ

アオイ科

アオギリ、フヨウ、ムクゲ、タチアオイ、

ハイビスカス、オクラ、ワタなど

◆葉のとくちょう

葉に柄が入った大きめの葉。

掌状めく。

表面に放射状の毛(星状毛)が生えていることが多い。

単葉で互生。



◆花のとくちょう

花びらは5枚。花びらとおいびが根もとがひとひになつて、おいびもくっついて筒状になっている。

美しい色の花が多い。ただ

小さいアオイ科に似たアオギリは、花びらがほとんどむだにない。ひとひのふきに小さなお花

とめ花をたくさんつける。このふき全体をみるとほかのアオイ科のそれとちがう。ふき



アオギリ 青木同

アオイ科

ちとせは「ほうぼん」のち

がいろしに多い。成長が早く、あまちなどであつというまに木になる。

大きなもみじのような葉と、韌やかなのに木のように大きく成長しているのを見て。



2017.9.7

ムクゲ 木槿

アオイ科

雑司が谷公園 人の家のおにり

木の高さは3~4m。花期は夏から秋。花の大きさは直径5~10cm。

フヨウよりも葉が細長く、全体がたてに大きくのびていた。



2017.9.7

フヨウ 芙蓉

アオイ科

南池袋第二公園

木の高さは1.5~3m。花期は夏から秋。花の大きさは直径10~15cm。

ムクゲに比べて葉が大きく、しげみが、横に大きく広がっていた。



アカザ科

ゴウシュウアリタソウ、アカザ、キヌア、
テンサイ、ホウレンソウ、オカヒジキなど

◆葉のとくちょう
APGではヒユ科の中に入れられて
いる。全体がひし形でふたに
ゆるいギザギザがあり、網
みまの太い部分がくっきり
しているものが多い。互生。食用に
なるものも多い。



◆花のとくちょう
なびらは2~5枚。
小さな花で、円錐花序
で咲くことが多い。



ゴウシュウアリタソウ
豪州有田草

アカザ科 目白通りぞい、
南池ふくろ公園

名前の通り、原産地は
豪州(オーストラリア)。
小さくてかわいらしいギザギザ
した葉がとくちょう。
空き地などにとっぜん発生
する。はじめは低く土をはか
後からまっすぐ立ち上がって
花をつける。



2017.2.7 目白通りぞい



2017.2.12 南池ふくろ公園

小さくてかわいい葉みまがは
きりしたギザギザの葉で
わかった。自宅にある葉の
かたちのスパンコールによ
く似ている。



アブラナ科

アブラナ、ムラサキハナナ、タネツケバナ、ズナ、ダイコン、キャベツ、ブロッコリーなど

◆葉のとくちょう
互生。

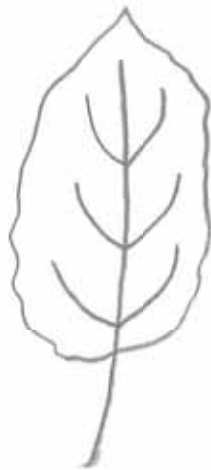
葉のふちが「ゆるぎサキザ」になつたり、なみうったりすることが多い。

ロゼットをつくるものが多い。

◆花のとくちょう

花びらは4本。

おしべは6本で、4本が長く2本は短い。



ムラサキハナナ

紫花菜

アブラナ科

旧高田あじなご

花期月は3月～5月。中国の「んしよかつしん明」が「広めた」という語から「ショカツサ」という別名もある。

むらさき色の十字形の花と、黄色いおしべ。毎年同じはしよごむねで咲く。



2017.9.6

アキノタネツケバナ

秋の種漬花

アブラナ科

鬼子母神参道

花期月は8～10月。

名前は、「たねを水につけて苗のじゅんじをすくるところに咲く」という語に「けい」が「しん」が多く、一年中た「いた」いつでも咲いている。

きれこみの多い葉と糸状いたねを見て。



2017.9.14

アヤメ科

アヤメ、カキツバタ、ハナショウブ、クロッカス、ニワセギシヨウ、ヒメヒオウギ、シャガなど

◆葉のとくちゅう

根生。

葉のかたち、
糸田線状か剣状。



◆花のとくちゅう

3枚の花びら、きれいな
しょうがいがあること、多いの
内がわに

3枚の花びらがある。

おしべは3本

めしべは1本で、木豆頁か
ろつにわかる。



ニワセギシヨウ
庭石菖

アヤメ科 雑司が谷公園近く
雑司が谷れいん

花期は4~6月。

大きな花びらと小さな花びら
が交互にならんでいる。大きな
花びらはかたがへんかしたの。



2017.5.7

花びらのねむりがいいむらぎで、
花びらの先が軽くおるとな
グラデーションになっている。

ヒメヒオウギ

姫輪菖

アヤメ科 鬼子母神参道

花期は4~5月。

根生で糸田葉がたく出
出ているところから糸田茎か
のびて花がらぐ。



2017.5.17

6枚の花びらが上下3枚ずつ
まわっていて、下かたの3枚にた
けようがらついている。

イネ科

エノコログサ、メシバ、ホシバ、クマザサ、スズメノカタビラ、イヌビエ、イネ、コムギ、ススキなど

◆葉のつくちよう

糸田長く、うすいものが多い。

平行みやくて互生。

茎にふしかりありふしこゝとに葉が出る。茎の中はくうどう。



◆花のつくちよう

花びらがなく、めしべが長くなって毛が生えていることが多い。

たくさんの花が集まって穂になっている。



エノコログサ

狗尾草

イネ科

目通りそいなと
びこにて"モ

花期は7~9月。犬のしほの草といういみの名前だが、穂にねこがしるるので「ネコシラシ」とも呼ばれる。えい語では「きつねのしほ」(fox tail grass)という。



2017.8.7 日曜日

穂が立っていればエノコログサ、たれていたらアキノエノコログサ。

イヌビエ

姫犬糞

イネ科

都電鬼母神駅
近く

花期は8~10月。田んぼに生え、120cmという大きくなるイヌビエの小型はゞでよいかんそうにつよくなっている。

イヌビエとよく似た形の穂が小さめで都会の道はたに生えていたので。



2017.9.7

メヒシバ

雌日芝イネ科

雑司の谷
しょうてんがらなど

スズメノカタビラ

雀の帷子

イネ科

鬼子母ネ申、
参道など

花期は7~11月。

茎の先にほうしゃ状の花序をつける。

夏まじゆんをはってふしから
根をおろす。



2017.8.18 柳ヶ谷

花期は一年中。

高さは5~10cm。

日本中のみならず
世界中で見られる。

どちらかといわしめた場所
をこのむ。



2017.8.17 鬼子母神

メヒシバより葉がやわらかく、穂
が細い。穂をゆるとべたつきを
かんじる。

小さくてもイネ科のとくちうか
は、きりわがる葉と穂。

メヒシバ

雄日芝イネ科

目通りをいなど マササ

隈笹

イネ科

鬼子母ネ申参道など

花期は7~10月。

茎の先にほうしゃ状(1穂2本
ワニとも)の花序をつける。

とても強く、アスファルトのすま
からむ型化して生えてくる



2017.8.12 柳ヶ谷公園

こうえんやうえこみなど”

によくみられる 笹。

冬をこすと、葉のふちに白い
くまどりがつく。



2017.8.14 参道

メヒシバより穂が太く、あさ
している。

葉のふちの白しはようと、葉の
うらさをさわってみると、びっくり
するほどやわらかいところ。

オオバコ科

オオバコ、ツタバウラン、キンギョソウ、ジギタリス、オオイヌノフグリなど

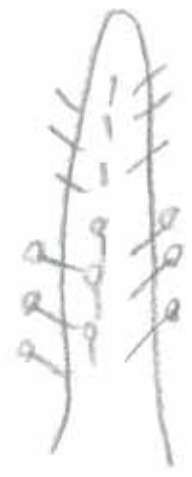
◆葉のとくちょう

平行みかくてロゼットを作ることが多い。



◆花のとくちょう

長い茎をのびし穂状花序となることが多い。
※さいまオオバコ科斗に入れられたツタバウランやオオイヌノフグリなどは、葉と花をこれらのとくちょうにあてはまらない。外見ではよく、いでんしを見るとにているのだらう。



オオバコ

大葉子

オオバコ科 雑司ヶ谷 しょうてんがい いぬ

ロゼット型の葉と糸状の花がとくちょう。地下茎でつながっている。ひとつのロゼットをみればとくちょうに近い。ながまがはいる。



2017.8.14 雑司ヶ谷の園

こいみどり色のロゼットの集合。花がないとちょっとむずかしい。

ツタバウラン 為葉海蘭

オオバコ科 雑司ヶ谷 体籠 近く

花期は3~11月。道はたやうえこみなどの日かげに生える。



2017.8.7

オトメグサと葉が似ているがこちらのほうが葉の先がとがっていて、花が目立つ。

ウコギ科

チドリグサ

血止草

ウコギ科

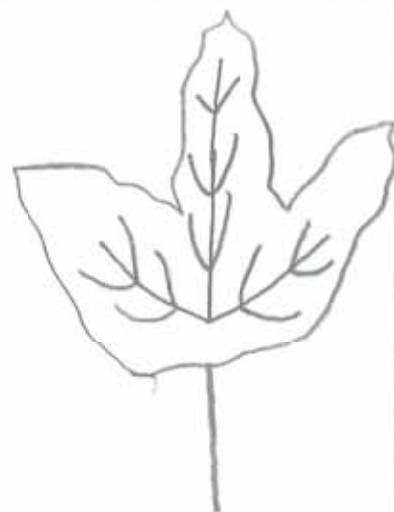
鬼子母ネ申道

ギンタヤツテシエフレ

チドリグサなど

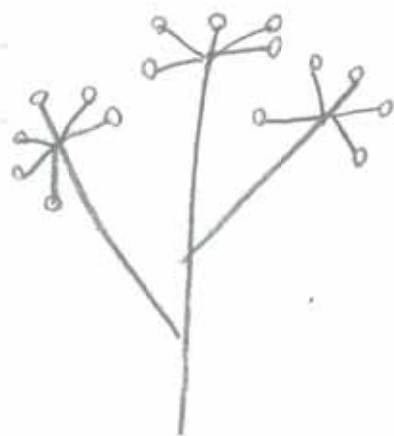
◆葉のつくちよう

きれこみか"入って
掌状になるものか"多い。



◆花のつくちよう

小さな花か
散形花序を作る
ことか"多い。



花期はおもひ月。
右だ"たみのすきまなどに
み"ちり生えている。
葉をケ"がしたところ
にはると血"が"とまるという
言い伝えか"ある。



2017.8.18 神明寺近く



2017.8.14 谷本町

ふちにきれこみか"入った
丸い葉か"つくちよう。
"ツタバウラン"とよくい
ている葉だ"が、
チドリグサのほうか"きれこみ
か"たくさんあり葉の先か"丸い。
花か"さいていたらほ"みきわめは
も"と"か"いたん。
チドリグサは緑色のか"さが
めだたない花で、
"ツタバウラン"は白いか"わい
めだ"つ花をつける。



2017.8.18 神明寺近く

ギツタ 木蓐	ウコギ科	マンションの うえこみなど	シエフレラ	ウコギ科	雑司の谷体育館 近くなど
-----------	------	------------------	-------	------	-----------------

冬でもかれないので「フエツタ」
よはれている。茎から不定根
を出しかべなどをはいの
ぼる。



2017. 8. 7 日白通りでい

同じツタでも、フトウ科
のツタ(サツツツ)は、木に
色づいて落葉する。

うえこみや、民家の庭に
植えられていたものが
半野生化して大きくなって
いるのをよくみかける。
ヤツデの葉のきれこみが
一枚ずつの葉になったよな
形をしている。



2017. 8. 14 風神神社

本当の名前は
「ヤトリツカノキ」。
「カボック」という名前は
よく似た葉の別の植物のもの
なのだからまちがえて呼
ばれていることも多い。

ヤツデ ハフネ	ウコギ科	雑司の谷 体育館 近く
------------	------	----------------

花期は11~12月。
大きな手の形の葉が
とくちょう。
「てんぐの羽うちわ」という
別名がある。



2017. 8. 17

「ハフネ」という名前だけ
と葉の先は7・9・11など
奇数に分かれている。

フヤフヤしたただえん形の葉
があつまって手のような形に
なっているところ。
赤ちゃんの葉も同じ形して
かわいい。



2017. 8. 10 雑司の谷体育館

オシロイバナ 株斗

オシロイバナ、ブーゲンビリア、ウズノキなど

◆葉のしくちょう

明るい緑色の
糸目あたまごがたの葉。
丈寸生が多い。



◆花のしくちょう

花びらにみえている
のはじつはかくくっついて
入とつになっているので、
本物の花びらはない。
夕方ごろから咲き始めて、
朝にはつぼみ花が細長い
ので、夜かっとうする。口の細長いスズガ
りながまたけしか花米粉をはこべない...はず
なのだが、つぼむときにおしべをぬしべに
くるくるとまきこむので自分でしら米粉する
こともできる。



オシロイバナ 白粉花

オシロイバナ 都電のせんりさい

花期月は6~10月。
花には白、ピンク、黄色の
ものがあり、ちがう色のか
ぶを近くにうえおくとまざった
色あしいやもようの花を咲かせ
ることが多い。



2017.8.17 都電せんりさい

たねをわたるときに出る
白しになを、おまごとの
おしろいかわり^{つかる。}に使うが、
どくがあるので口にいけない^{つかる。}



2017.8.14 法明寺近く

夏のあつさでもいけな
い明るい緑色の葉とあざ
やかなピンク色の細長い
ラッパ形の花。

カタバミ科

カタバミ、イモカタバミ、アカカタバミなど

◆葉のつくち

ハート形の葉が3枚ずつ同じはしから生える夜になると葉を下向きにして寝る。そのとき葉が欠けたようにみえることから片喰(かたはみ)という名前になった。(ちなみにマメ科のクローバーは、葉を上向きにして寝る。)カタバミの葉には、シュウ酸がふくまれているので、10円玉をみかぐくとヒカヒカになる。



◆花のつくち

花びらは5枚、かいくも5枚。おしべは10本、めしべは1本。



カタバミ

片喰

カタバミ科 道ばたといつても

花期月は4~10月。

カタバミ、アカカタバミ、ウスアカカタバミは黄色の花をつける。(それぞれ葉の色はじつと緑、赤、緑と赤のまじった色) 大葉やきれいな色のえんげいしゅもたくさんあり、オキサリス・トライアンゴラスもそのひとつ。よく野生化してあまちなでふえている。



2019. 8. 7



ハート型の三つ葉と5枚の花びら。糸緑と赤のまじった葉はびょうきのカタバミだとおもっていたが、調べたらカタバミとアカカタバミの

キク科

キバナコスモス
黄花秋桜
キク科
都電尾子母神
近く

タンポポ、キク、コスモス、ヨモギ、アサギなど

花期は6~11月。
花の色は黄色、オレンジ、赤など。



2017.8.1

コスモスによく似た葉と花
だが、コスモスにないあざ
かな花の色。コスモスのほうが
どことなくせんかほろい。

◆葉のとくちゅう

キク科は大きな科なので
さまざまな植物が入っており
葉のかたちでみきわめるのは
むずかしい。
互生が多い。

◆花のとくちゅう

たくさん小さな花が
集まって頭状花序を作る。
舌状花のみのもの(タンポポなど)
筒状花のみのもの(アサギなど)
両方あるもの(ヒマワリなど)の
ろしゅるいがある。



アキノゲシ
秋の野菊
キク科
法明寺近く

花期は9~11月。
葉のふちが「大ぎれこんで
ぎざぎざ」している。
高さは60~150cm。



2017.8.12

ノゲシとよく似ているが
舌状花の花冠のふんばりが
すこしすすい黄色だったので。

オアレチノギク 大荒地野菊 キワネ斗 都電線路そば
 ハキタメギク 掃帚の葉 キワネ斗 鬼子母ネ申など

花期は8~10月。
 とにかく背が高く、
 1~1.8mにもなる



ヒメカシヨモギとよく似ている
 が、花はほとんど開かず
 う茶色がかっているところと
 葉がやわらかくあつめなところ
 からみきわめた。

花期は6~10月。
 牧野富太郎博士がゴミす
 場でみつけたことからこ
 んな名前に。



中央の黄色いぶぶんかめ
 小さい花、白い花ひらが
 すらまってみる。
 花に比べて葉が大

アフリカオニアザミ キワネ斗 雑司ヶ谷二丁目
 数田平子 キワネ斗 雑司ヶ谷二丁目

花期は4~5月、このとき
 3月でもあちこちでさい



コオニアザミとよく似ている
 ヤブタビラコのおか
 古状花の数が多いよ
 れることからみきわめた。

花期は6~10月。
 1~1.5mくらいまで
 大きくなる。
 本当はヨーロッパ



全体にさるとい
 いて背の高いしけ
 茶色、ほい花け

キンカクシ科

ジャノヒゲ
虫の舌

キンカクシ科 鬼子母神
参道など

ジャノヒゲ、ヤブラン、ハラン、ナギイカダ、
リュウゼツラン、アスパラガスなど

花期月は7~8月。
うすむらさき色の花が咲き青いほうせきのような実をつける。



2017.8.14

どんなきせつでもかわらず
緑色の糸長い葉。

◆葉のとくちょう

やわらかくて糸長いアスパラガスから太くてかたいリュウゼツランまで大きさはさまざまが、糸長いものが多い!

ヤブラン
藪薊

キンカクシ科 鬼子母神
参道など

◆花のとくちょう

小さな花を総状花序でつけることが多い!

花期月は8~10月。
野生は緑一色、えんけい用は白しぶいりの葉。



2017.8.14 参道

糸長い葉とサマムスカリという別名の通りムスカリによく似た、たて長の花。

ハラン

葉蘭

キナガサ科

南池第二公園など

ナギイカタ
棚後

ギンカクシ科

雑司の谷体育館
近く

長さ50cmほどにもなる
 大きい葉をたくさんのはず。
 花は月ほら月ごろたが地面
 すれすれに咲くのであまり
 目立たない。
 えんげい用のものか
 庭かめにけたし野生化
 しているものをみかける。



2017.8.7 雑司の谷体育館うら

庭こみに使われていることが
 多い。見た目はふつふつの葉なのに
 さわるととてもかたく、いたい
 おもいをするこも



2017.8.28

大きくて、一年中緑色の
 葉。

びっくりするほど固し葉と、
 一まい一まいの葉がたてに
 なっているところ。

太陽の光をうけにくそで
 ちょっとふしぎな井ノカタと
 思ってしめべてみたわ。

これは葉で"はなよく茎が"
 へんかしたものだ"とわかった

ケシ科

ケシヒナゲシ、ハナヒツソウ、ムラサキケマンなど

◆葉のつくちよう

互生。

葉はきれこみかが入っているか、
小さい葉のしゅうごう(ふく葉)。
葉をちぎるとにゅうえきか"で"るか、
どくのあるものも多いので"ちゅうい"。

◆花のつくちよう

花びらは、4枚・6枚・8枚
のものが多い。

おべの数が"多い"。

ナガミヒナゲシ

長実薔子

ケシ科

都電鬼子母ネ橋
近く

花期は3~6月。
オレンジ色の花を咲かせる。
実が長いから"ナガミ"。



2017. 5. 16

たくさんまとまって咲いている
ので"と"おくからでもよくわかる。
前の年に咲いていたのと同じ
はしょに咲くか、毎年おとしが
つびろから"ま"ている。

ムラサキケマン

紫華薔

ケシ科

富田小 あとち

花期は3~6月。
赤むらさき色の花をたくさん
つける。
どくがある。

細長い花がびらりついている
ところと、きれこみの多い葉
をみて。



2017. 4. 15

シソ科

ミント、バジル、ローズマリー、ラベンダー、タイム、セージ、サルビア、ホトケノザなど

◆葉のとくちょう

葉のふちが「ギザギザ」になるものが多い。

対生で、ひとつのは「しよから」
十枚の葉が「十字状」に出る
茎の七割り口が「四角」になる。

◆花のとくちょう

くっついてひとつになつた
花びらが「上下にわかれた」
唇状花。

めしべは1本
おしべは4本。



サルビア、
ミクロシア

シソ科 雑司が谷
二丁目など

花期月は5~11月。
チェリーセージの名前で
うられていることが多い。
とくに赤と白のリートカラー
のものは「ホットリップス」
とよばれる。

細い茎たが「背が高くなる」
民家の庭からにけたら
半野生化していることもある。

花のかわいい色と形から
名前がわからないときは

「ドレスの花」とロ手んでいた。
赤一色や白色の花もみかけ
るので「ちがうしるいた」とお
もっていたら、なんと、気温が高いと
赤い低いと白の花が咲いたとき!

茎の先に2つづつ花が「咲く」ことが多い。



2017. 5. 28



2017. 6. 10

シメオドリコソウ
姫踊子草

シソ科 高田小あとし

花期は3~5月。
葉にちりめん状のしわが
へり、上の方の葉は
赤むらさき色に色づく。



2019.4.15

唇状花の上と下の部分
おどろ子のすまんのよう
みえてかわいらしい。

ホトケノザの花とそっくりだが、
ホトケノザが、ふたいの上に
たくさんおどろ子(花)がゆ
ている上かな形なのにくらべて、
これは葉におどろ子があ
るように花がさいているので、
シメオドリコソウだとわかった。
赤むらさき色がかった葉も
きめ手におった。

シロバナタツナミソウ
白花立浪草

シソ科 雑雀司タケ合タケ
二丁目タケ

花期は3~5月。
花がたくさん、かわ
を向いて口先くよすも
波しぶきになぞらえた名前。
10cmほどの小さな草
たがよく目立つ。



2019.5.1



2019.5.7

シロバナホトケノザだと
思っていたが、それにしては
花が多く、もりもりしたか
のがふしぎで、何冊ものす
しらべていたら
シロバナタツナミソウだと
分かった。
実がでたところを見比べて
かくしんをえた。

夕テネ斗

ヒメツルソバ
姫蔓蕎麦 夕テネ斗 東京音大 ちか

ソバ、ルバーブ、イヌタデ、ミズヒキ、
ヒメツルソバなど

花期は7~11月。たが
あたたかい地方では一輪
花がみられる。
地をはってとんとんふえる。
ピンク色のボールのような
花序をつくる。



2017. 8. 14 音大近

◆葉のとくちょう

ハート形〜細長いがやみ
刀刃状。みゃくのものが多
互生葉鞘あり。

◆花のとくちょう

花びらはなく
4~5枚のがくには
おしべめしべが包まれて
いる。

小さいので"粒のよう"
見える

こんぺいとうのやうな
かわいらしい花と。
中央にV字のもよう
がくした葉をみる。
葉のふちと中央の葉みやく
赤みがかっているのも
とくちょう。

日あたりがよいところの葉ほど
赤みが強いよ。うた。



2017. 8. 17 音大近

イヌタデ 犬蓼

タデ科

雑司が谷二丁目

ミスヒキ

水引

タデ科

高田小あとち

花期は7~10月。
こいピンク色のふわふわした
花をつける。
別名「あかまんま」。
おまごとおせきは人の
かわりにする。



2017.8.17 雑司が谷駅

穂のような花序と
ゴッゴで「おせきはんに使
い」ことから、イネ科っぽい
イメージがあるが葉を
みると、イネ科の平行みやく
てはよく羽状みやくがは
きりみえてタデ科である
ことが分かる。

花期は8~10月。
長い茎にまはらに花をつける。
赤い花にみえるが!
じっさいには花びら4枚の
うち上3枚が赤、下1枚が白。



2017.8.7

白い花のものを
「ギニスヒキ」という。

長い茎と、ひかえめな小つぼ
の花をみて。



2017.8.28

高田小 あとちの4月はいたらずに
いはいたったばかり、5月には
ぜんぶドクダミにかわり、7~8月は
ヤブガラシ、8月おわりには
ニワシキ

ツユクサ科

ツユクサ、トキワツユクサ、ムササギツユクサ、ヤブミ、ウガ、ブライダルベールなど

◆葉のとくちゅう

互生葉鞘あり。
平行みゃく。

◆花のとくちゅう

花びらは3枚が多い。
ツユクサはそのうち下の1枚が白くて小さいので目立たない。



ツユクサ 露草

ツユクサ科 東京音大近く

花其月は7~8月。
朝に咲いて一日でしぼんでしまう。めいべが1本、おしべが6本あるが、ちゃんとした花粉をつけているのは2本のおしべだけという、あまふしぎな花である。



2017.8.17 音大近く



2019.9.7 都電でい

あざやかな空色の花びらと花のそとに出た長いおしべと茎にまきつくような葉をみて。

ムラサキツユクサ
紫露草
ツユクサ科 高田小あと地

花期は6~9月。
花びらは3枚。



2017. 5. 17

ておくからみると三角形にみえる、3枚の花びら。

キツユクサ
常磐露草
ツユクサ科 高田小あと地

花期は6~9月。
花びらは3枚。



2017. 5. 17

3枚の花びらと長いおし

ヤブミョウガ
藪茗荷
ツユクサ科 高田小あと地

花期は6~9月
葉がミョウガの葉に似ている。長い茎の先に小さな白い花をたくさんつける。紺色のまるい実がでる。



2017. 8. 17



2017. 9. 5

小さな花をよくみるとトキワツユクサなどの花によく似ている。

トウダイグサ科

ニシキソウ、コニシキソウ、コミカンソウ、
キャッサバ、ノバラ、コムノキ、ホインセチアなど

◆葉のくちよう

互生または対生。

◆花のくちよう

葉がへんかしておれのよ
うな形になったものの中に
め花ひとつとお花数個が
へっている。

(総状花序といふ)



コニシキソウ

小金魚草

トウダイ
グサ科

東京昔大近く

花期月は6~9月。

だえん形の葉が対生で、
茎は地面をはう。



2017.8.17

コミカンソウやハイニ
シキソウと似ているが、
葉の中央に赤紫色の
もようがある。

コミカンソウ 小蜜柑 ^{トウダイ}グサ科

目白通りぞい など通りぞい

花期は7~9月。
まっすぐ生えた茎から
いくつも枝を出し、
そこにだんご形の
葉が対生でつく。
夏に小さなみかん
のような果実をつける。



2017.8.7

さいしよはオシキソウ
かと思ったのだけれど
さわってもおしぎはせず。
茎が立ち上がるので
ニジキソウやハイニジキ
ソウでもないと感じた。

ナガエコミカンソウ ^{トウダイ}グサ科
長木西小蜜柑

鬼子母神

花期は7~12月。
まっすぐ生えた茎から
いくつも枝を出し、
そこにだんご形の
葉が対生でつく。
花や果実が長い枝
を出して葉の上にいる。



2017.8.14

コミカンソウに似ている
が、葉の上に花や実が
のっているの。

ナス科

ナス、トマト、ジャガイモ、ピーマン、ホオズキ、ツルハナス、タマサンゴなど

葉のとくちょう

互生。

花のとくちょう

5本の花びらが根もとつながっている。(五裂というめしべは1本、おしべは5本、おしべが黄色くてよく目立つものが多

めしべが「おしべよりせがひくいと、えいよ

元気な花の
しょうたい



ツルハナス
蔓花茄子

ナス科 雑草司ヶ谷
しょうじんがい

花期は7~10月。
つる小生で、生けがきなどによく使われている。
花は咲き始めはうすむらさき色で、だんだん白くなる。



2017. 8. 14

五裂の花と小さなバカ
ようなおしべから、ナス科だと
わかった。そして、白やむらさき
の花がツリまじって咲
いているところから
みきわめた。

ワマサンゴ
玉王冊 瑚

ナス科

富田小あどち

イヌホオズキ
犬鬼灯

ナス科

都電ぞい

花期は5~9月。
ミニトマトのような赤い
実をたくさんつける。



2017.8.7

ナス科らしい、星形の花と、
ミニトマトそっくりの実を
みて。

学校交で育てたミニトマトは
花は黄色で、葉のふちが毛と
ギザギザだったので、ちがうと
分かった。

花期は8~11月。
小さめの白い花を咲かせ
黒い実をつける。



2017.8.17 都電ぞい

葉にギザギザが多いのが
イヌホオズキあまりギザ
ギザしていないのがア
メリカイヌホオズキ



2017.8.15 南地蔵公園近く

ナス科らしい星形の花
と黒い実をみて。

そのイセー1



2017. 8. 7
高尾山
お池

アベツア (スイカズラ科)



2017. 8. 7
高尾山
お池

イヌワラビ (イワデングサ科)



2017. 8. 7
高尾山
お池

ブドウ (ブドウ科)



2017. 8. 7
高尾山
お池

ヘクソカズラ (アカネ科)



2017. 8. 17
高尾山
お池

カシノキ (クワ科)



2017. 8. 17
高尾山
お池

ヨクシヤマコホシ (ヤマコホシ科)



2017. 8. 17
高尾山
お池

トウタミ (ドウダミ科)



2017. 8. 4
高尾山
お池

サルスベリ (ミソハギ科)



2017. 8. 7
高尾山
お池

アブカラシ (ブドウ科)



2017. 8. 7
高尾山
お池

ハハコ (ブドウ科)



2017. 8. 17
高尾山
お池

イノエトリ (イノエトリ科)



2017. 8. 17
高尾山
お池
近く

アハバキ (アカハバキ科)

その他-2



2017. 8. 17
三軒が谷公園
フラスカリ (カリ科)



2017. 6. 27
東京者大

ネジバナ (ラン科)



2017. 8. 18 南池袋公園

アリアケスミレ (スミレ科)



2017. 9. 17
南池袋
第一公園

スベリヒユ (スベリヒユ科)



2017. 8. 7 高田小前地

コヒルガオ

ヒルガオほど
葉が糸田なくて
きれこみが少し多い!



2017. 8. 7 日自通りぞい

ハセランタナ (セラン科)

実のようなつぼみは
こごご2時すぎから
開く。

スミレとは思えないほど
大きくて強いロゼット。
でも、葉がそのまま葉柄に
のながる形は
とてもスミレ科らしい。
来年の春の答え合わせが
楽しみ。

フミカンノウの赤ちんと
ちょっと似ているがスベリ
ヒユの茎のほうがすべす
べしている。



その他一ろ



2017. 8.14
6時



2017. 4.6
相模原公園

高田小あと地
のふらけい



2017. 4.15

都電 さいのふうけい



2017. 8.17

ムラサキサキゴケ(イエトウカサ科)
花が白っぽいので
トキワハセガかと思っていた
が、葉の形でみれば

ハナニラ(ネギ科)



2017. 4.15

カラスノエンドウ(マメ科) オシロイバナ(オウゴン科)
スズメノエンドウ(マメ科) キク(キク科) など夏の植物がい

っぱい!



2017. 4.15



2017. 8.17

キュウリグサ(ナデシコ科)



2017. 4.15

高田小あと地には白系と青
系の花がいっぱいに咲いて

ナスナ(アブラナ科)

カンミナグサ(ナデシコ科)

フェンスの上に出ている
のはヨウシュヤマゴボウ下
から出てきているのはヘク
カスラ。きわに生えているの
は、エノコログサとオオアレチ
ノギク



2017. 8.17
東京大



ハハツクサ(ナデシコ科)

ハハツクサ(ナデシコ科)

まとめ

と島区雑司ヶ谷の、やせいのしょくぶつをかよさ
7分るは、いかのような点が大へんでした。

- 1) かんむりしているしょくぶつが、せいちょうしたすがた
なのから、ここから大々となるのかわがらない
- 2) ちよつたのびはなやみか、たよいは、あ、いも多
おかんにのっているすがた、とちか、う
- 3) 科のとくちょうを、おいかけてみたが、すかんに
のっているものから、かわっているものも多い。しかも、
じゅん木の先生に聞いたら、今、ちよつじ、かわりつづけて
いると、ちよつじ、あし10年くらいで、ちゃんとまどた
ちよつじのこと。また、げんざい、いしり、の、APG
分るい体系、は、DNA、かいせき、にもとづくものな
ので、外見からは、共通点、か、わからな、い、が
い、になっている、こと、ある



2017. 2. 13
新世帯公園
← ちよつじ、
の、わ、いて、る

と島区に、小さなしせんか、いたく、とあるのを
わかって、うれしか、った、です。
もう、すぐ、なくな、って、しま、う、高田、小、あ、と、ち、せ、
と、で、ん、こ、う、じ、げ、ん、ば、の、し、よ、く、ぶ、つ、を、じ、ゅ、ん、り、か、ん、む、
り、を、し、よ、く、ぶ、つ、を、し、ゅ、ん、り、か、ん、む、
する、こ、と、が、で、き、た、の、も、よ、か、つ、た、で、す。し、よ、く、ぶ、つ、で、い、は、
い、の、も、り、の、よ、う、だ、つ、た、は、し、か、い、な、く、な、ら、て、し、ま、う、の、は、
み、し、い、け、れ、と、ひ、ょ、う、し、た、ら、た、ね、か、雑、司、ヶ、谷、の、
ど、こ、か、に、の、こ、っ、て、い、る、か、も、し、れ、な、い、の、で、ま、た、
あ、る、か、も、し、れ、ま、せ、ん、た、の、し、み、で、す。

2017年8月
八木夏凜



2017. 8. 9



このすがたのしゃしんはせんぶ、
わたしの母が、すつ、う、い、れ、お、た、

◆おもなさんこう文けん

すべて島くのとしかんてかかりました。
☆は中央としかんてです。

「新分類 牧野富太郎植物図鑑」(北隆館/2017)☆

「新しい植物分類学1」(日本植物分類学会/講談社/2012)☆

「新版 形とくらしの雑草図鑑」(岩瀬徹・飯島和子/全国農村教育協会/2016)池ふくろ

「最新版 街でよく見かける雑草や野草がよーくわかる本」(岩槻秀明/秀和システム/2014) 目白

「ふしぎが楽しい 校庭の雑草観察便利帳」(岩槻秀明/いかだ社/2011)☆

「身近な草花 雑草のヒミツ」(保谷彰彦/誠文堂新光社/2014)☆

「ハンディ版 学校のまわりでさがせる植物図鑑 夏」(近田文弘・監修/金の星社/2009)☆

「野の花えほん 春と夏の花」(前田まゆみ/あすなる書房/2009)☆

「野の花えほん 秋と冬の花」(前田まゆみ/あすなる書房/2011)☆

「草の名前が葉っぱでわかる」(近田文弘/大日本図書/2001)☆

「なかまがわかるよ、花のかたち」(江川多喜雄/童心社/2007)☆

「身近な雑草の芽生えハンドブック」(浅井元朗/文一総合出版/2012)☆

「身近な雑草の芽生えハンドブック2」(浅井元朗/文一総合出版/2016)☆

◆さんこうになったイベント

「豊島の森 観察ツアー2017春」(豊島区環境政策課/2017年5月)

「ベジフルキッズクラブ」(アールアンドケーフードサービス株式会社/2017年7月)

「エコライフフェア2017」(豊島区/2017年8月)

「生きもの探しと花の鑑賞」(豊島区環境政策課・西武百貨店/2017年8月)

◆小さな文字は 母に身につけてもらいました。